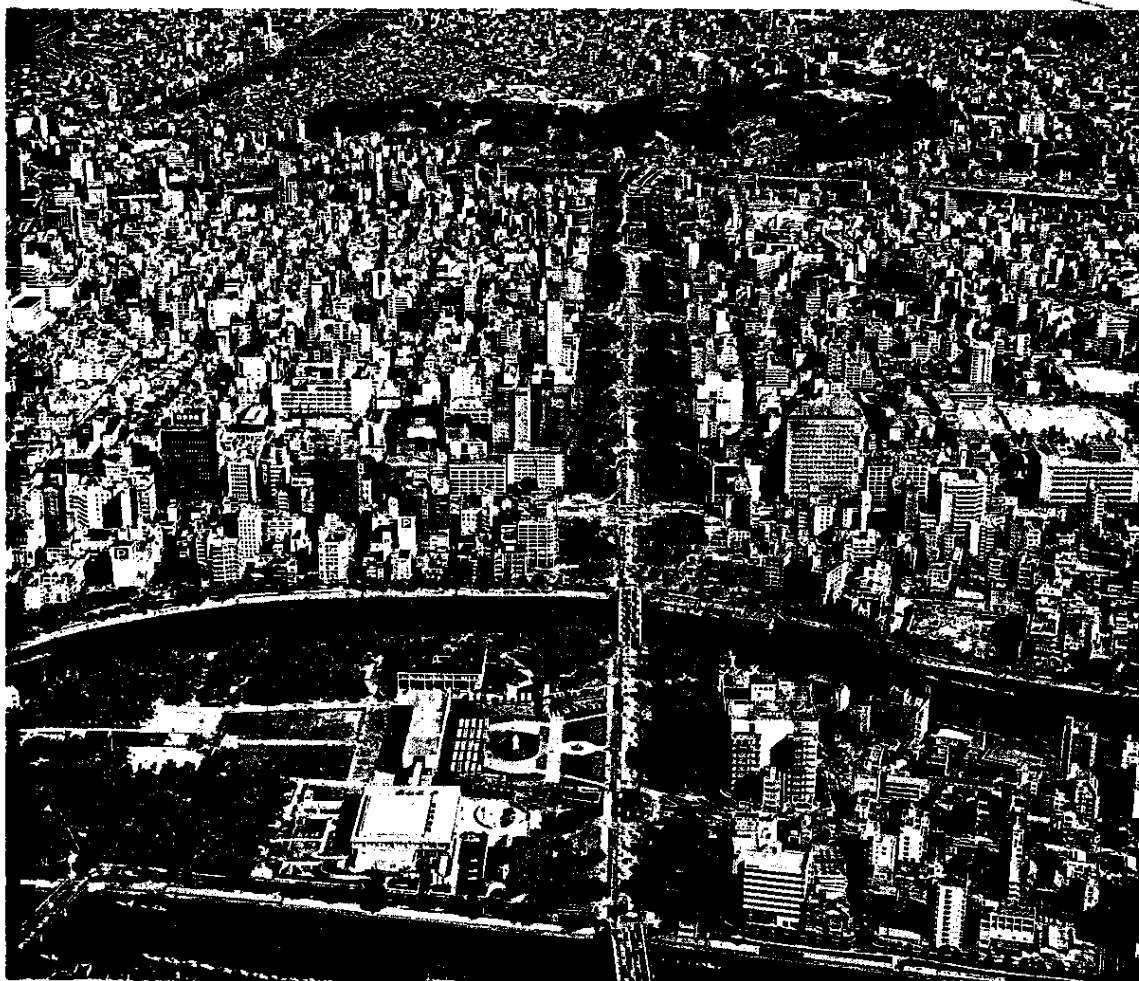


第3回研究集会報告書

都市づくりと地域経済



広島大学経済学部附属
地域経済研究センター編

地域経済研究推進協議会

目 次

まえがき	櫛本 功 (広島大学経済学部附属地域経済研究センター長)	1
研究集会プログラム		2
開 会 式		
挨拶	櫛本 功 (広島大学経済学部附属地域経済研究センター長)	4
	岩崎 浩 (中国電力経済研究センター所長)	6
基調講演		
「都市計画と地域経済」		
	井上 孝 (東京大学名誉教授、都市計画中央審議会前会長)	7
パネル討論		23
「都市づくりと地域経済」		
司 会	門田 博知 (広島大学工学部教授)	
発 言 者	近藤 秀明 (建設省都市局都市計画課建設専門官)	
	池上 義信 (広島市開発局計画調整課長)	
	尾原 重男 (三菱総合研究所参与、経済・経営本部副本部長)	
	戸田 常一 (広島大学経済学部附属地域経済研究センター助教授)	
助 言 者	井上 孝 (東京大学名誉教授、都市計画中央審議会前会長)	
研究報告		
「紙屋町地下街構想をめぐって」		
	藤田 尚史 (ひろぎん経済研究所副主任研究員)	57
「瀬戸大橋架橋と都市機能の変化」		
	渡辺 信治 (岡山経済研究所研究員)	71
「みぢかな (生活圏) 文化活動施設のあり方について」		
	山根 義章 (地域デザイン研究所研究員)	81
「地場産業としての伝統工芸品の現状と課題」		
	安富 紀輔 (山口経済研究所調査研究課長)	97
「最近の土地・住宅の動向と居住者からみた住宅問題」		
	宮本 茂 (中国地方総合研究センター第二研究部副主任研究員)	110
閉 会 式		145
座長講評	松水 征夫 (広島大学経済学部教授)	
	香川 敏幸 (慶應義塾大学総合政策学部教授)	
あとがき	中島 正雄 (地域経済研究推進協議会会長 中国経済連合会専務理事)	155

ま え が き

本誌は、広島大学地域経済研究センターおよび地域経済研究推進協議会が、平成3年11月7日・8日の両日、中国新聞ホールにおいて「都市づくりと地域経済」をテーマに開催しました第3回研究集会の報告書です。

地域経済研究センターは、学外の調査・研究機関と連携し、地域経済に関する理論的・実証的な調査・研究を行うことを目的として、平成元年5月に新設されました。また、地域経済研究推進協議会は、地域経済研究センターの活動を支援して、地域経済に関する研究活動を推進し、地域の産官学の交流を図ることを目的として、平成2年3月に設立されました。

これらセンターおよび協議会は、創設以来、毎年、地域経済に関するシンポジウム、セミナー、研究会とともに、上記のような研究集会を開催し、産官学の方々にお集まり願ひ、地域経済に関する様々な問題を討議しております。

特に研究集会は、二日間にわたって開催され、初日は、基調講演とパネル討論会、二日目は、中国地方を代表する五つの民間シンクタンクから、地域経済に関する研究をご報告頂いております。これによって、地域経済の研究機関相互の交流を密にして、活発な情報交換を行い、地域経済を研究する諸機関のネットワーク作りができるものと期待しております。

今回の研究集会は、「都市づくりと地域経済」をテーマに、基調講演に井上孝先生、パネル討論に建設省都市局、広島市開発局、三菱総合研究所、広島大学の専門家にお集まり頂き、様々な角度からご討論頂き、当地方の都市づくりに貴重なご提言を頂きました。

地域の皆様方のご協力により、研究集会には初日221名、2日目197名に上る多数の方々のご参加を賜り、極めて有意義な成果をあげることができました。

研究集会での基調講演、パネル討論および研究報告のいずれも大変なご好評を頂き、報告書として残すべきであると考え、本誌を作成することに致しました。

本誌を作成するにあたり、基調講演をお願いしました井上孝先生、パネル討論のパネリスト、および研究報告者の方々、その他関係各位のご協力を深く御礼申し上げます。

平成4年4月

広島大学経済学部附属
地域経済研究センター長 櫟 本 功

地域経済研究センター

第 3 回 研究 集 会 プ ロ グ ラ ム

共通テーマ：都市づくりと地域経済

日程：平成3年11月7日（木）・8日（金）

主催：広島大学経済学部附属地域経済研究センター
地域経済研究推進協議会

場所：中国新聞ホール

■11月7日（木） 会場 中国新聞ホール（7F）

12：30－13：00 受 付

13：00－13：20 開 会 式

挨拶 榎 本 功（広島大学経済学部附属
地域経済研究センター長）
中 島 正 雄（地域経済研究推進協議会会長）

13：20－14：20 基 調 講 演

「都市計画と地域経済」

井 上 孝（東京大学名誉教授、都市計画中央審議会前会長）

14：40－17：00 パネル討論

「都市づくりと地域経済」

司 会 門 田 博 知（広島大学工学部教授）

発 言 者 近 藤 秀 明（建設省都市局都市計画課建設専門官）

池 上 義 信（広島市開発局計画調整課長）

尾 原 重 男（三菱総合研究所参与、経済・経営本部副本部長）

戸 田 常 一（広島大学経済学部附属

地域経済研究センター助教授）

助 言 者 井 上 孝（東京大学名誉教授、都市計画中央審議会前会長）

18：00－19：30 懇 親 会

会 場 広島厚生年金会館 3F 銀河

■11月8日(金) 会場 中国新聞ホール(7F)

10:00-12:00 研究報告

座長 松水征夫(広島大学経済学部教授)

「紙屋町地下街構想をめぐって」

報告者 藤田尚史(ひろぎん経済研究所副主任研究員)

討論者 中川大(京都大学工学部助教授)

「瀬戸大橋架橋と都市機能の変化」

報告者 渡辺信治(岡山経済研究所研究員)

討論者 岡本輝代志(岡山商科大学商学部教授)

13:30-16:30 研究報告

座長 香川敏幸(慶應義塾大学総合政策学部教授)

「みちかな文化活動施設のあり方について」

報告者 山根義章(地域デザイン研究所研究員)

討論者 松波龍一(都市環境研究所広島事務所所長)

「地場産業としての伝統工芸品の現状と課題」

報告者 安富紀輔(山口経済研究所調査研究課長)

討論者 若井具宜(広島県立大学経営学部助教授)

「最近の土地・住宅の動向と居住者からみた住宅問題」

報告者 宮本茂(中国地方総合研究センター第二研究部
副主任研究員)

討論者 阿部宏史(岡山大学工学部助教授)

16:30-17:00 閉会式

座長講評 松水征夫(広島大学経済学部教授)

香川敏幸(慶應義塾大学総合政策学部教授)

挨拶

広島大学経済学部附属

地域経済研究センター長 榎 本 功

本日は、広島大学地域経済研究センターと地域経済推進協議会により第3回研究集会にお集り下さりまして大変有り難うございます。本研究集会を開催するに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

私は、地域経済研究センターのセンター長を務めております榎本でございます。御案内のように、私どもの地域経済研究センターは、平成元年に創設されました。ちょうど元号が平成になりますと同時に出来上がりまして、毎年、研究集会を開催し、今年は平成3年、本会が第3回の研究集会でございます。



私どものセンターは、わが国で初めて国の省令で認められたセンターでございますが、私どものセンターには、キャッチフレーズが2つございます。1つは、「産官学の連携」でございます。もう1つは、「地域は地域で考える」でございます。

産官学の連携をキャッチフレーズにしておりますのは、私どものセンターも地域経済に貢献したいと考えておりますが、そうはいいましても力不足でございます。やはり産官学の皆様方と連携を深めながら、共に地域を考えていくべきであろうと思っております。

いま1つのキャッチフレーズは、地域は地域で考える、であります。当地域でも中央の優れた方々から様々な御助言を賜っており、今後とも御助言を頂かなければなりません。しかし基本的には、地域は地域で考えるべきであろうと思っております。

本日は、「都市づくりと地域経済」というテーマで、井上先生に基調講演を頂き、それを受けてパネル討論会を開きます。続いて明日は、中国地方を代表する5つの民間のシンクタンクから御報告を賜ります。2日間にわたって、様々なご討論を頂きまして、地域に対して御貢献申し上げたいと考えております。

今回のテーマでございます都市づくりについて、私見を多少申し上げます。四全総という多極分散という場合に、多極とはどこか。私はしばしば1極・2極・4極と申し上げます。1極というのは東京でございます。そしてその東京の高度な都市機能を分散させる地域は、まず2極、つまり大阪と名古屋でございます。そしてさらには4極、すなわち地方における中枢都市であります札幌・仙台・広島・福岡の、いわゆる札仙広福です。そしてその次は50万都市、そのさらに次には30万都市などの中核都市であります。

わが国が発展するためには、地方が発展しなければなりません、地方が発展するためには、札幌、仙台、広島、福岡という地方の4極が極めて重要な役割を果たすと考えております。こうしたわが国全体の構図の中で、広島も考えるべきであり、本日のテーマの都市づくりにおいても同様であると思います。どんな結論が出てまいりますか、大変楽しみにしております。

2日間にわたります研究集会におきまして、中央および地方における優れた専門家の方々の御発言を賜りまして、本研究集会がいささかなりとも地域に御貢献できればと考えております。ぜひとも皆様の積極的な御批判なり、御提言をいただければと存じます。会場の皆様、どうぞ御協力のほどお願い致します。どうも有り難うございました。

挨拶

中国電力経済研究センター所長 岩崎 浩

今日は、みなさまたいへんお忙しいところを、御出席いただきましてありがとうございます。厚くお礼申し上げます。私は、ただ今御紹介いただきました、中国電力の岩崎でございます。地域経済研究推進協議会の中島会長に御挨拶をいただく予定でしたが、ちょうど出張中ですので、私が一言御挨拶申し上げます。



先ほどの櫛本先生のお話と若干ダブろうかと思いますが、地域経済研究推進協議会の立場から、簡単にお話させていただきます。この地域経済研究推進協議会と申しますのは、今日の研究集会の主催者の1つであります、広島大学経済学部附属地域経済研究センター、これまでいろいろな研究活動をやっておりますけれども、これを支援しまして、地域経済の活性化を図っていくと、こういうふうな目的で、昨年4月に地元の産・官・学のみなさまにより、設立されたものでございます。

今年7月には、札幌、仙台、広島、福岡、いわゆる札幌仙広福という地方中枢都市の問題を取り上げまして、シンポジウムを開催し、非常な好評を得たわけでございます。また9月には、「経営戦略と経営管理」というテーマでセミナーも行っております。なお、今回の研究集会では「都市づくりと地域経済」という共通テーマを設けまして、2日間いろんなプログラムをつくっております。どうぞ御期待いただきたいと思っております。

それから今日お話しいただく先生方でございますが、東京から都市計画中央審議会前会長をなさっておりました、井上孝先生にお越しいただいております。井上先生には「都市計画と地域経済」という題で基調講演をしていただくことになっております。また、同じく東京から建設省都市局の近藤秀明専門官、三菱総合研究所からは尾原重男参与、地元広島から、広島大学工学部の門田博知教授、広島市開発局の池上義信課長、地域経済研究センターから戸田常一広島大学助教授。6人の方にお越しいただいております。「都市づくりと地域経済」というテーマでパネルディスカッションをしていただくことになっております。6人の先生方、たいへんお忙しいなか、今日の研究集会にご参加いただきましてありがとうございます。今日1日よろしく願いいたします。なお明日は、中国5県のシンクタンクの代表の方々の研究発表も予定しております。どうぞ時間がございましたらお誘い合わせの上、またご参加いただきたいと考えております。最後になりましたが、今回の研究集会が地域経済の活性化や、御聴講のみなさまのために少しでも意義あるようなかたちになればと考えております。以上、たいへん簡単でございますが私の御挨拶にさせていただきます。どうも今日はありがとうございました。